

平成29年度 学校経営計画

大田区立志茂田小学校

校長 伊佐 玲子

1 学校経営の基本理念

- ・ 学習指導要領の理念である「生きる力」をはぐくみ、大田区教育委員会の教育目標および「おおた教育振興プラン2014」にのっとり、学校教育を進める。
 - ・ 学校は、「全ての児童が安心でき、個性や能力を十分に発揮し、達成感を味わえるいきいきとした明るい学校」であることを目指す。
 - ・ 教職員は、全児童のために学校があることを常に忘れず、プロとしての使命感を強くもち、組織をあげて協働で全児童をはぐくむ。
- ◎ 今年度実施される仮校舎の移転、および校舎・校庭改築に際し、限られた施設でも安全に教育的活動が充実できるよう、全教職員で情報を共有し、組織が一丸となって教育活動を進めていく。

2 本校の教育目標

人権・生命尊重と社会貢献の精神に基づき、心身共に健康で豊かな知性と感性に富み、郷土を愛し、自ら社会貢献に寄与しようとする人間性豊かな児童を育成する。

◎よく考え、工夫する子

○いつもねばり強く、がんばる子

○こころ豊かに、助け合う子

3 教育目標の具現化

① よく考え、工夫する子

児童一人一人の学ぶ意欲を高め、確かな学力の定着をはかる。

算数習熟度別少人数・チームティーチングの実施（ステップアップ学習とベーシックリルの活用）

学力定着および学習習慣確立のための**宿題の徹底**

放課後補習学習と土曜補習学習、家庭との連携—家庭学習のすすめ—

図書を活用・読書量の向上

話し合い活動の重視、児童相互の高め合い 高い言語能力を生かした**高めあう学習**

学級・学年における定期的な合唱・発表や音読の機会の設定

体験的活動により自ら探究する力の育成 問題解決学習の重視

理科教育の充実 ICTを活用できる子の育成

全員挙手から始まる授業、

日々の授業の意味づけ（一時間一時間を大切にする）

行事のための練習はごく一部、日々の授業の積み重ねの成果が学校行事で表れる

外国語活動の充実

オリンピック・パラリンピック教育の推進—ノートの活用—

② いつもねばり強く、がんばる子

係活動・当番活動と自治的活動

慕われる上級生、上級生を手本とする下級生

体力向上、持久走大会

基本的な生活習慣の確立、早寝早起き、朝ご飯、外遊びの励行

礼儀正しく公德心をもった児童の育成

規範意識の徹底とみんなのために働く意識の高揚

TPOを意識した挨拶の重視

夢をもち、それに向かって努力するたくましさや態度の育成

③ ころ豊かに、助け合う子

自他ともに命と人格を尊重する児童の育成

交通事故や他の事故から自分の身を守る指導

相手の立場や気持ちへの理解（他者理解）・共感

規範意識の醸成 きまりを守ってみんなが安心できる学校生活を作ろうとする子

4. 学校経営を進めていく上で留意すべき事項

①安心できる学校（全ての子どもたちが明るく元気な学校）

- ・ 学校生活のルールが守られ、正義が通る学校。（規範意識の徹底）
- ・ 学校や児童の様子が分かる学校。
- ・ 日ごろからいざという時の方法を児童が体得できる学校。（予告なしの訓練）
- ・ 信頼関係があり、児童の明るい笑い声、歌声が響く学校。（心が通い合える一合唱・共同作品）
- ・ 多くの目と手で児童を支援していく学校。（困った、不安な児童への支援）

②個性や能力の発揮できる学校（子どもたちが学び合い、学ぶ楽しさが実感でき、充実感のある学校）

- ・ 計画的で積み上げのある教育活動を展開できる学校。（年間指導計画・週案に改善策は朱書きを行う。）
学び考える喜びを味わわせ、自らを高めようと意欲を高めることのできる学校。（自尊感情の高揚）
（小さなステップによる賞賛、発表の機会の提供—保幼交流での発表や教え、保護者や地域での発表）

③使命を自覚する学校（互いに研鑽し合い、教職員一人一人が自らの資質の向上に努める学校）

- ・ 児童には学ぶ義務があり、大人には教える責任があることを自覚した職員の集団。
- ・ 児童に範を示すことができ、プロとしての意識、使命感をもった集団。
（まずは挨拶、言葉遣いの範となるように）
- ・ 手や目をかける必要のある児童に対して、多くの職員で見えていく学校。
（必要に応じて 全教職員による協力体制の見直しと関係機関・ボランティアの検討）
- ・ 年長者が、若手の授業を見、若手に見せ指導する。若手が燃える情熱、意欲をもち、斬新な考えを出す。互いに資質向上に努める。OJT 研修を進めていく学校。（実施後も次のために改善策を提案する。）
（教職員が研鑽できる環境づくり、教職員のミニ研修、自主研修の推進）
- ・ 職種・職層が異なっても児童のために積極的に情報交換できる学校。
- ・ ことばの教室があり、サポートルーム拠点校であることを最大限に生かし、教職員同士学び合い、それぞれ指導法を高めていく学校。
- ・ **新しい取り組みに挑戦・研修していく教職員の組織** そのための OJT、教職員同士の連携を密に

④地域の特性を生かした学校（保護者・地域に開き、信頼される学校）

- ・ 保護者が子どものためにもっと足を運びたいと思える学校。
- ・ 本校の伝統、地域の特性、文化財の活用、近隣園との連携。
- ・ 地域資源教材の継続活用。
- ・ サポートしてくれる方々を大切にする学校。（心強い方々が多くいる地域）
- ・ 郷土愛を培うとともに、郷土の活性化も目指す。（子供の笑顔・元気をもっと地域に）
- ・ 教職員自らが地域を愛し、表現していく。（挨拶にもうひとつ言葉を交わす）
- ・ 時には家庭・地域に発信できる学校。
- ・ 小中一貫教育の拡充、および幼保にも働きかける学校。
- ・ **現校舎に別れ告げ、新校舎に向けての計画、60周年に向けての準備を進めていく**